

平成 28 年度事業報告

特定非営利活動法人ハニー・ビー

I 事業期間

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

II 事業の成果

2016 年度（平成 28 年度）は、既存事業のサービス見直しを図ることで、改めてサービスの在り方を突きつめて、無理や無駄について認識が出来ました。とりわけ、支援の航海図となる障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づく一般相談支援事業と児童福祉法に規定する障がい児相談支援事業である相談支援センターハニー・ビーでは、丁寧に利用者ニーズを聞き取る（傾聴する）ことから始めて、更に今よりも生活の豊かさを実感出来る様な提案を心がけ、マイ児童デイサービスとの連携により、前年度を上回るサービスの確保に繋がりました。また、スタッフのスキルアップにも繋がりました。

アプリコット介護サービスでは、『ご利用者様にとってのよりよいサービスの提供』について考え、サービスを受けていただくことは勿論ですが、敢えて改善型提案ができる関係性作りを心がけました。ご提案することによって双方にとって負担なこともあります。サービスの在り方に一考を投じたお陰で、新たな経験値が増えるなど良い結果に導かれることで、「自立力がアップ」された利用者から喜ばれる結果となりました。

マイ児童デイサービス（そね）では、スタッフの育成にも力を入れながら、放課後等デイサービス事業の更なる拡充を図りました。28 年度も『生活する上での基本動作の習得』を目標に掲げて、毎日しっかりと目を配りながら活動を繰り返すことで、理解したうえでの活動が出来たのではないかと考えています。

マイ児童デイサービス（はっとり）では『あいさつをしよう』と言う目標に掲げて取り組み、毎月コミュニケーション講座というプログラムを取り入れ開催することによって、『あいさつをする意味』『ビジネスマナー、コミュニケーション能力の向上』が図られました。

そね、はっとり事業所とも、いま豊中市内でも多くの放課後等デイサービスが開設される中、他の事業所との違いを明確にし、豊中市で最初の民間事業所として自負を持ち、『将来を見据えた充実した療育支援の場』としてのサービスの提供に力を注いでおり、個別支援計画での保護者面談の際にも概ね高い評価を得てきました。

昨年にも増して、障がい児への支援環境は大きく変わりつつあります。家庭支援や医療的ケアが必要な障がい児への支援も含め、障がい児支援についてどう考えるのか、障がい児支援の質の向上をどのように図っていくのかも考える時期に来ていることを実感しています。特に、障がい児通所支援については、支援が必要な障がい児のニーズや放課後子どもクラブや日中一時支援事業との役割分担にも留意をしながら、障がい児に対する放課後等デイサービスでの支援内容の適正化を図っていきます。

また、法人の理念である「障がい者の自立と就労参加の実現」をめざし、放課後等デイサービスに通う中で、より就労への意識付けを行う「プレ就労応援型」の放課後等デイサービスの開設をめざし、準備を始めました。

放課後等デイサービスの現状：平成28年4月時点で、全国で8352か所の事業所があり、前年度より36.6%増加し、平成27年度の総費用額は1,446億円で障がい児支援額全体の64.9%を占めている。1月あたりの利用児童数は平均11万2千人で前年度より26.9%増加している。実施主体も営利法人が半数近くを占めている。全ての項目において新制度が始まった平成24年4月以降、大幅な増加を続けている。 ※出典：国保連データ

平成27年11月に開設した就労移行支援事業では、利用者が中々集まらず、夏休みには、事業所独自で見学・説明会を実施し、利用者の獲得をめざして、障害者就業・生活支援センターや無料職業紹介所との協働を試みましたが、苦戦を強いられました。しかしながら、この経験を通して、ハニー・ビー内の各事業所の連携だけでなく、他の就労移行支援事業所との連携や、また障害者就業・生活支援センターとの連携が急務だと気付いたことは大きな成果であると認識しています。職員の定着化とスキルアップをめざして研修の充実を図りました。また、就労移行支援事業を経験する中で、保護者を含め障がい者自身が一定期間での就労実現に不安を抱える人も多いことを知り、期間にとらわれず個々の特性を引き出す場として就労継続事業の必要性を痛感し、平成29年2月に就労移行支援事業に併設する形で「ハニー・ビー ジョブB型」事業所を開設しました。就労移行とB型の2つの「ハニー・ビー ジョブ」が多機能型として訓練実習を連携しながら進め、利用者さんの就労への自信に繋がる支援の強化を図りました。

NPO 事業では、法人としての目標として掲げている『地域の方々に愛される法人』をめざして、今年度も様々な気付きに繋がる活動を開催しました。毎年恒例行事になりつつある『サポートが必要な子どもたちとの宿泊体験IN 淡路島』は7回目を迎え、7月23日、24日の2日間無事に事故なく、多くのボランティアや宿泊先のご協力もあって日程通りに終了することが出来ました。2012年より毎年開催の、であい・しりあい・わかりあい=3あいの大切さを地域と共有するイベント、『みんなでワイワイさんあいイベント』を、今年度も11月6日に豊中市服部西町のふれあい緑地の芝生広場で開催し、予想を上回る2,300名程の市民の方々に参加いただきました。2事業とも、独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金助成活動事業として開催しました。

ハニー・ビーでは、毎年度当初に活動基本方針として「ハニー・ビーの活動を進めるにあたって」を全職員に示しています。基本方針では、より信頼されるサービスの向上に向け、「職員の質の向上と専門職としてのプライド」を掲げています。方針に従い、スタッフの研修機会の充実をめざして、豊中市の『出前講座』をフルに活用して様々な分野での見識を深めました。また、特定非営利活動法人で『働く意義』など、働くことに生きがいややりがいを実感できるような環境を整備して、障がい者福祉に長い間、関わり続けてもらえる人材の育成に取り組みしました。今後も法人のミッション『障がいがあっても社会参加は当たり前～みんなにやさしい共生社会の実現～』をめざして活動を続けてまいります。

Ⅲ 事業実施の状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 事業区分「障がい者（児）の自立・就労の意義」に関する講演会、勉強会、見学会

【事業名】 講演会事業

【事業内容】 豊中市立野畑小学校保護者会での講師として「先輩ママから学ぼう！」25歳（当時）になる重度知的障がいの息子の母として、小・中学校は地域で、高等部は支援学校で過してきた中で、自身の思いや経験を生かし、特定非営利活動法人ハニー・ビーを立ち上げ、豊中市での放課後等デイサービスの運営のほか、地域と連携しながら療育支援、相談支援、就労支援などの事業を展開する中で、わたしの（代表としての）思いを語りました。テーマを絞らずにいろんな目線からのお話をというご依頼でしたので、座談会形式で進めました。

【実施場所】 豊中市向丘 豊中市立 野畑小学校 ひまわりの部屋

【事業の対象者】 野畑小学校 支援学級在籍の保護者など 30名

【活動報告】 今年度は、久々に豊中市立の小学校支援学級に在籍することも持つ保護者を対象にお話をさせていただきました。わたし自身で歩んできた道は、決して一人で切り開いたものではなく、ご縁を頂戴した方々の存在が大きかったことなどを、パワーポイントを使って講演をさせていただきました。

保護者の中には、「先日思いがけず病院で、わが子の障がいを告知され、なかなか我が子の障がいに対して受容できずに悩んでいる。」と告白された方もおられ、それをわが子とダブらせて一緒に涙しながらもお聞きしました、参加された方から「とても良い繋がりの場になった。」と後日談を聞き、経験談を話される方々に、こちらが逆に勉強させていただき貴重な講演会となりました。

(2) 事業区分 療育支援事業

イ【事業名】 就労支援プログラム（トレーニングジョブ＝トレ・ジョブ）事業

【事業内容】 主に知的・発達障害のある方々と就労体験が出来るところをマッチングし、サポーターと共に地域での草の根的な支援者、事業者への理解を深め、また当事者も体験値を培う就労プログラムを実施しました。

【実施日時】 通年随時

【実施場所】（学）育保学園 （熊野田幼稚園、くまのだ保育園）

【事業の対象者・人数】 就労をめざす子ども達等 延べ120余名

【活動報告】 豊中市内にある事業所を中心に10年前に始めて、継続しています。元気なうちにはなかなか、考えるのですが、「親亡き後の障がいのあるこどもの将来」を見据え、思いを馳せてみる機会になればと思っています。どうしても「迷惑をかけはしないか」と先に考えがちですが、そうしたマイナスのイメージの払拭に努めたいと思います。

実習先でのお話： 元気な声が出ることもたまにありますが、夏の暑い日にも手を抜かずに、一生懸命、水撒きや草抜きする姿に「真摯に仕事への取り組む姿勢」が感じられました。園児たちもまた先生方も応援して

います。いつも有り難うございます。

□【事業名】宿泊体験事業

【事業内容】 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受けて、『第7回サポートが必要な子ども達との宿泊体験』事業を【豊中市・豊中市教育委員会の後援】で開催しました。サポートが必要な小学4年生から18歳までの25名が、保護者と離れて様々な体験をする中でルールやマナーを学び、仲間との連携、達成感などの体験値を高めるための宿泊体験事業を行いました。

自然の中での体験を通じて、グループ活動をする際にチームワークの大切さなどを学びます。また、サポーター（ボランティア）も日頃あまり、出逢うことのない、サポートの必要な子ども達との関わりから理解や意識も変わっていくことに繋がるように企画をしました。

【実施場所】 兵庫県南あわじ市 じゃのひれコテージなど

【実施日時】 平成28年7月23日（土）～24日（日）

【事業の対象者】 チャレンジャー・サポーター合わせて 53名

【事業区分】 障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業

【収益】 1,344,174 円（うち助成金 787,000 円含む）

【費用】 1,344,174 円

【活動報告】 今年も、無事に事故なく終了することが出来ました。サポートが必要な子ども達、保護者にとっても『将来の社会参加や自己実現を達成』するには、信じることと、沢山の『体験値を積み重ねること』が重要だと実感していただくための事業になったかと自負しています。

知的・発達障がい児に特化しての活動として今回も回を重ねることが出来ました。体験することを諦めることが多い保護者に対して、今回始めて参加して下さったサポーターにも有意義な宿泊体験になったのではないかと思います。

ハ【事業名】地域連携事業

【実施内容】 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受けて、『第5回みんなでワイワイさんあいイベント』事業を【豊中市・豊中市教育委員会の後援】で開催しました。服部西町にあるふれあい緑地の芝生広場を会場に、地域の方々と『であい・しりあい・わかりあい＝3つつのあい』で、障がいのあるなしに関わらず、顔の見える関係性作りに寄与できればと、近隣住民の皆さまや地域にある小中学校に広報し、また直前の11月2日には、こども広報委員として豊中市役所での広報活動に出かけ、子ども達も準備の段階から知恵を出すなど実際に活動に積極的に取り組むようにしました。

その中でも、初めての場所であったり、体験したことがなかったり、これらの体験を通じて人と関わる成功体験から折り合いをつけることを学びます。準備からの関わりに重きを置いたのも、目立ったステージでのパフォーマンスをするにも、積み重ねた結果が、大事だということなどから体験からの小さな意識変革が出来る様にと目標を掲げました。

【実施場所】 平成28年11月6日（日） 10時30分から16時

【実施場所】 豊中市服部西町 ふれあい緑地

【事業の対象者】 市民など 2, 300名程度

【収益】 919,627 円（うち助成金 910,128 円含む）

【費用】 919,627 円

【活動報告】 年々、近隣地域の方をはじめ、多くに方々にお越しいただき、年々賑わいが増えています。今年度は、安心安全の点もテーマに加え、起震車をはじめ、消防車や地域の青パト、また防災グッズの配布など、来場の子も達にも大人気でした。毎年、多くのボランティアさんにも参加いただき、非常に助かりました。

出店した各店舗には、「子ども店長」が入れ替わり立ち代り、店頭に立ち、積極的に来場者に声を掛け、働く喜びを実感し、自信につなげてもらえたと思います。出店団体へのアンケートでも、高い評価をいただき、次年度以降の継続出店を希望される団体さんが多くありました。

ステージでは、マイ児童デイサービスの子もたちの可愛いダンスもあり、多くの団体の多彩なパフォーマンスに来場者の皆さんも昼のひとときを楽しく過ごしていただけたと思います。

参加いただいた全ての人々（障がいの有るなし関わらず、また子どもたちも）が、共に事業を成し遂げる達成感を感じていただき、「体験値の積み上げの大切さ」を、今年も感じていただいたと思います。

（3）障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

ア 【事業名】 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

【事業内容】 知的・発達障がいをはじめ様々な障がいのある方と子どもたちへの身体、生活介護や通院時の付き添い、家事援助などの支援を行ないます。また、ご本人の力を引き出せるように、様々な場面でのお手伝い、自立に向けてのご支援をさせていただきます。寄り添うことを心がけ、保護者、ご本人様のニーズに合わせてサービス、将来の社会参加をめざしてのサービス、また保護者のレスパイトケア（一時休息）的役割も果たすべく、サービスを実施します。

※以下、移動支援事業に同じ

【実施場所】 豊中市、大阪市淀川区など

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】【費用】 下記（４）に、（３）（４）事業を合算し報告

【活動報告】 下記（４）に、（３）（４）事業を合わせて報告

イ 【事業名】 就労移行支援事業

【事業内容】 法人の掲げている「みんなにやさしい共生社会の実現」への思いとして、障がいがあっても社会参加は当たり前、地域で生きていけるよう、また自己実現できるよう、主に知的・発達障がいのある方を対象に、『はたらく』ことを通じて社会の一員として『社会参加は当たり前』『自立した生活が営めるよう』２年間にわたり様々な活動と体験の機会を通して、就労に必要な知識の習得やスキルアップのための訓練等を適切・効果的に行ない、『はたらく』力を身につけ、就労の準備から就職活動・職場定着までサポートします。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年 1 年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 5,668,690 円

【費用】 18,670,136 円

【活動報告】 27年11月に開所した就労移行支援事業ですが、未だ思いは必要としている方々には届かず、利用者は定員を満たしていません。支援学校の進路選択は年々早くなってきており、進路決定時期(8月中におおよそ決まる)に間に合わず、次年度の受け入れをめざして活動を開始するも容易ではありませんでした。そのため目標どおりの利用者の受入が整わず、利用実態以上の受入体制の整備や維持費用が掛かり、このような結果になりました。反省を踏まえて、体制を整備し、引き続き「就労移行支援事業」に拘りつつも、今現在の利用者のニーズ、保護者のニーズまた社会情勢なども勘案しながら自信を持って諦めないで、『障がいがあっても社会に出てはたらく』ことを示していきたいと思っています。

ウ 【事業名】 就労継続支援B型事業

【事業内容】 法人の掲げている「みんなにやさしい共生社会の実現」への思いとして、障がいがあっても社会参加は当たり前、地域で生きていけるよう、また自己実現できるよう、主に知的・発達障がいのある方を対象に、『はたらく』ことを通じて社会の一員として『自分らしく働ける』『就労をとおして、人生を輝かせよう』との思いを持って、様々な活動と体験の機会を通して、人との関わりの楽しさ、社会性を養う支援を行います。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 273,751 円

【費用】 1,342,147 円

【活動報告】 29年2月に開所した就労継続支援B型は、開設間もないとはいえ就労移行支援事業と同様、定員を満たしていません。28年度の受け入れは1でした。利用者の受入準備のための人的物的投資等の費用がかかり、このような結果になりました。就労移行支援事業同様に、引き続き利用者確保のために、今現在の利用者のニーズ、保護者のニーズまた社会情勢なども勘案しながら自信を持って『障がいがあっても自分らしく働ける』ことを示していきたいと思っています。

(4) 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業

【事業名】 移動支援事業

【事業内容】 主に知的・発達障がいのある障がいのある方、子ども達の外出の際の付き添い、移動の支援を行ないます。また本人の力を引き出せるよう、移動の際のお手伝い、余暇活動や自立に向けての支援をしていきます。保護者、ご本人それぞれのニーズに合わせた、余暇活動や将来の社会参加をめざしてのサービス、また保護者のレスパイトケア(一時休息)的な役割も提供できるように実施します。

【実施場所】 豊中市、箕面市など

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 17,574,580 円【(3) アと(4) の合計】
(うち、(3) の介護給付費 8,093,112 円)
【費用】 14,635,042 円【(3) アと(4) の合計】

【活動報告】 (3) ア及び(4) いずれも知的・発達障がいのある当事者に対して、将来の社会参加をめざすべく余暇支援や成功体験の積み重ねを図り、その先にある『地域で生きる』『働く』ことを常に意識し、居宅介護、重度訪問介護、同行援護並びに移動支援を行ないました。支援の中では、出来る限り前向きな姿勢で物事を捉え、『地域連携』を踏まえながら成功体験を重ね、利用者の方々が自らの行動に自信を持ち、暮らしに楽しみや充足感を持てるよう、意識をしました。

また第三者であるわたし達スタッフ(家族外)との『信頼して託していただける』関係性を構築することをめざしました。ひとつ、ひとつのかかわりを大切に、その小さな積み重ねが自信になるだけでなく、将来にわたって繋がりがまた広がるものと思っています。

(5) 児童福祉法に規定する障がい児通所支援事業を経営する事業

【事業名】 放課後等デイサービス事業

(マイ児童デイサービス、マイ児童デイサービスはっとり)

【事業内容】 主に、知的・発達障がいのある子どもたち(小学校1年生から18歳)に対して、しっかりとした個別支援計画に基づいて、一人ひとりの障がいと個性を見つめ、通所にてサービスの提供をしました。

マイ児童デイサービスが主に小学生の児童、マイ児童デイサービスはっとりが主に中学・高校の児童(生徒)を対象にしており、それぞれの年齢や環境に応じた課題を掲げて、ニーズにあった支援を提供しています。

学齢期にある児童の発達を促し、将来を見据えた社会生活を送るために必要な力を身につけ、将来働くということで自信に繋がるように、個別療育と集団の中で培うことの出来る週間プログラムによるグループ療育の2面で支援を行ないます。

保護者はもとより、当事者にも分かりやすいご家庭でも取り組める様な『療育支援』のアドバイスなども行い、将来の自立(自律)へと促せるように寄り添う支援を心がけて事業を行っています。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 33,005,306 円(そね) 31,637,319 円(はっとり)
計 64,642,625 円

【費用】 23,312,541 円(そね) 23,931,625 円(はっとり)
計 47,244,166 円

(ア) マイ児童デイサービス(曾根事業所)

【活動報告】 今年度は、スタッフのスキルアップと事業の充実が図れたと思います。今年度は、安定した人員体制のもと、無事に、平成28年度を終了することができました。昨年に続き地域の小学校に通う支援が必要な子どもたちが新たな仲間として加わり、ありがたいことに現在も問い合わせがあります。療育というところに特化し、『生活を基本とした生きるための療育

支援』を踏まえて、新しいプログラムを取り入れた『更に一步踏み込んだ療育』へと進めていきました。

例えば毎週変わる『週間プログラム』に関しても『来所したからには、必ず参加させて、しなければ。』という事ではなく、スタッフ間で課題を整理し、それぞれの子どもの状況をしっかりと把握したうえで、現在は『個別支援計画』に基づき、『子どもたちの特性』などを考慮し、どのような形で取り組むのかなど予めシュミレーションしたうえで、『その日の子どもたちの体調や調子』などを観察し、参加の仕方を配慮することで日々進化をしています。

様々な場面で、生活習慣の向上をめざした療育を行えるようになりました。これからも保護者のニーズをうかがいながら、子どもたちが『なりたい自分になる』という夢や希望が持てるよう、またその期待を担うべく『ハニー・ビー』スタッフがー丸となって、個々の子どもたちに合った療育を提供していきます。

～今年度を実施した重点項目～

1. 個別支援計画書内容見直し
 小学校低学年が多く在籍するそねの子どもたちのニーズ
 : トイレや現実的に困難な内容を記載したものが多数あった。
 : 具体的には手先の巧緻性の向上やご家庭とも連携してのトイレトレーニングの計画などを盛り込んだ。
2. 「週間プログラム」の改善
 : 個別支援計画書に基づき、それぞれの子供達の課題や動きを想定し改良を重ねながら実施へと変更。
 : 興味が有る無しに関わらず今まで気づかなかった子どもの新たな一面や発見を得られた。
3. 子どもたちの体調管理に留意
 : 体調の良い日、また悪い日も混在する中で、子どもたちは、何らかの原因により、泣いたり、また自傷行為、他傷行為に及ぶこともありました。スタッフは、その個々の状態を把握し、注意深く見守り（観察）、また経過を見ていく中で原因になるものを出来るだけ軽減していけるようにしていきしました。

【利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	250	264	257	243	213	242	248	260	217	204	226	229	2853
利用日数	24	24	24	22	22	24	24	24	20	22	22	25	277

月	週間プログラム (主な内容)
平成28年	文字・言葉「自己紹介カード」体操「手足ぴったんこ2」
4月	クラフト「つくってあそぼう」など
5月	クッキング「季節のおやつ作り」せいかつ「手をキレイに」 レクレーション「みんなと仲よく」など

6月	クラフト「壁面作り（夏を作ろう）」たいそう「音にあわせて」 クラフト「七夕の準備」レクリエーション「雨にも負けず・・・」など
7月	文字・言葉「七夕の短冊作り」体操「夏祭り準備①踊り練習」 クラフト「夏祭り準備②小物作り」など
8月	クラフト「夏祭りの準備③絵日記を書いてみよう」 クラフト「夏祭り準備・夏の思い出を振り返ろう」など
9月	音楽「みんなで歌おう」リズム「みんなでおどろう！」 レクリエーション「楽しいゲーム」せいかつ「おはしをつかって」など
10月	クラフト「実りの秋」生活課題「生活に必要なことを学ぼう」 体操「身体を動かそう！」クラフト「秋の壁面制作」など
11月	文字・言葉「芸術の秋」音楽・運動「寒さに負けず」 特別課題「避難訓練」レクリエーション「秋を楽しもう！パート2」など
12月	クラフト「クリスマスの飾り作り」「クリスマスプレゼント作り」せいかつ「年賀状作り」 ダンス「クリスマスに向けて」合同「クリスマス会を開催」など
平成29年	せいかつ「新年の抱負&お正月遊び」「新年の抱負&お正月遊びパート2」
1月	ダンス「レッツダンス」クラフト「節分だ！鬼のお面作り」など
2月	レクリエーション「豆まき」クッキング「バレンタインチョコ」 運動「寒さに負けない体力づくり」クラフト「春の壁面制作」など
3月	レクリエーション「おともだちとつなかりよう」ダンス「ダンス1年総復習！！」 文字・言葉「卒業・進級の抱負」せいかつ「進級卒業お祝い会」など

(イ) マイ児童デイサービスはっとり(服部事業所)

【活動報告】 知的・発達障がいのある中学生から高校生 3 年生（一部小学生を含む）を対象とした障がい児通所支援事業を行ないました。

個々に対応した個別支援計画を作成し、その個別支援計画に基づき、グループとする療育と個別にする療育（自立課題）について、毎日のプログラムと週間プログラムを作成しました。

- ① 毎日のプログラムは、個別支援計画に基づきグループ別と個別の二通りの支援方法で作成しました。
- ② 週間プログラムは、週ごとに、挨拶・お金の理解・クッキング・クラフト・体を動かすなどの項目を、その季節にあった内容で作成し療育支援した。
- ③ 土曜日デイのプログラムを更に 4 月から充実させました。
第 1 週目 プレ就労 電車編（切符を買って電車に乗ろう）
第 2 週目 就労プログラム（選抜メンバー）
第 3 週目 プレ就労 クッキング編（調理を作ってマナーを身に付けよう）
- ④ 就労プログラム（選抜メンバー）12名は、挨拶や作業終了の報告また作業中の態度、自己紹介の仕方など実際の事業所での実習作業を実施しました。

月	週間プログラム（主な内容）
平成28年	たんけん「そとでうんどうしよう」たんけん「新入生歓迎会・オリエンテーション」仕事・生活「道具の使い方」など
4月	
5月	たいそう「ボールを使って運動しよう」数字「お金の理解」生活・仕事「片付け競争」マナー「コミュニケーション講座：あいさつ編」など
6月	クラフト「壁面作り（夏を作ろう）」たいそう「音にあわせて」クラフト「七夕の準備」レクリエーション「雨にも負けず・・・」など

7月	文字・言葉「七夕の短冊作り」体操「夏祭り準備①踊り練習」クラフト「夏祭り準備②小物作り」など
8月	クラフト「夏祭りの準備③絵日記を書いてみよう」クラフト「夏祭り準備・夏の思い出を振り返ろう」など
9月	音楽「みんなで歌おう」リズム「みんなでおどろう!」レクレーション「楽しいゲーム」せいかつ「おはしをつかって」など
10月	クラフト「実りの秋」生活課題「生活に必要なことを学ぼう」体操「身体を動かそう!」クラフト「秋の壁面制作」など
11月	文字・言葉「芸術の秋」音楽・運動「寒さに負けず」特別課題「避難訓練」レクレーション「秋を楽しもう!パート2」など
12月	クラフト「クリスマスの飾り作り」「クリスマスプレゼント作り」ダンス「クリスマスに向けて」せいかつ「年賀状作り」合同「クリスマス会を開催」など
平成29年	せいかつ「新年の抱負&お正月遊び」「新年の抱負&お正月遊びパート2」
1月	ダンス「レッツダンス」クラフト「節分だ!鬼のお面作り」など
2月	レクレーション「豆まき」クッキング「バレンタインチョコ」運動「寒さに負けない体力づくり」クラフト「春の壁面制作」など
3月	レクレーション「おともだちとつながろう」ダンス「ダンス1年総復習!!」文字・言葉「卒業・進級の抱負」せいかつ「進級卒業お祝い会」など

2016年度（平成28年）就労プログラム計画案

法人としてのビジョン	障がいがあっても社会参加は当たり前 みんなに優しい共生社会の実現
重点目標	働く意識の向上をめざす 働く上で大切なことを学ぶ
課 題	挨拶、コミュニケーション（報告・連絡・相談 ホウレンソウの実施） 聞くこと、尋ねることの重要性、集中力の習得、根気強さ、 労働に耐えられる体力作り
具体的な活動内容	自分の名前、住所、保護者の名前、生年月日などが言える、書ける 挨拶が出来る（TPOに応じて、意味が判る）、自己紹介 清掃をする（要所を伝えてしっかりと取り組む）
毎月の内容	今までの挨拶の練習、自己紹介カード、振り返りは継続して行なう 月1回実施 10名限定 指導員3名（少人数で） 長期休暇（8月）の平日、身近な実習先から実際の職場体験をする （3日～5日間） 【夏の実習予定先】 ハニー・ビー ジョブ 就労移行支援事業所 あいウィル（JR西日本）府庁公館、阪神友愛食品、コープこうべ など 人との関わり、清掃作業、もの作り、保育、接客、販売などを体験 する

年 間 実 施 計 画

4/9（土）	身だしなみ、ビジネスマナーについて学ぼう 働くということとは？ 作業実習 6種類の作業チェック① 5月の話を聞く
--------	--

	菜の花デイサービス（高齢者デイ） 豊中市スポーツ振興事業団など見学予定
5/14（土）	菜の花デイサービスお仕事 豊中市スポーツ振興事業団清掃作業など
6/11（土）	菜の花デイサービスお仕事 豊中市スポーツ振興事業団清掃作業など
7/9（土）	宿泊体験の準備作業 指示で行動する しおり作り、物品購入、旗作り、横幕作りなど
8月 平日	3日～5日間の職場実習体験 希望者のみ 指導スタッフ同行 阪神友愛食品、コープこうべ蛍池店など 8/1～8/5（5日間）8/8～8/10（3日間）←13, 14日休み 8/22～8/26（5日間）の中で設定予定です。
9/10（土）	作業実習 6種類の作業チェック① 夏休みの振り返りなど
10/8（土）	菜の花デイサービスお仕事 豊中市スポーツ振興事業団清掃作業など
11/5（土）	さんあいイベント 看板作り、横幕作り、 ねらい：6日がさんあいイベントのためのイベントの準備や司会、当日 までの準備調整など
12/10（土）	クリスマスカードの作成、その他 ねらい：人のために、仕事をすることの喜びを感じる。みんなで協力して、やり遂げる ことで、達成感を得ることで自信に繋げる。また、感謝される喜びを実感する。
1/14（土）	作業実習 6種類の作業チェック① 2月の昼食作りのための話し合い ねらい：2つのグループに分かれて昼食の献立をみんなで考えて、実際に買 い物に行き（@300円×人数分）、料理をしてみんなで楽しく食べ、片付け もする。計画性、協調性を養おう
2/11（土）	チーム別調理実習、3月の準備など ねらい：計画を立て、考えた献立を実際作って、食べよう。協調性を養おう。
3/11（土）	まとめ、発表 ねらい：1年を振り返って、様々なプログラムの中でそれぞれのメンバ ーの良かったことなどを称賛しながら、皆勤者、また卒業生を労い（花 束贈呈）、来年度への士気を高める。みんなで卒業生を囲んで、記念撮影

☆28年度就労プログラム 一日の流れ 【基本パターン】☆

13:00	手洗い、うがい、保護者からの聞き取り（健康状態など） 連絡帳提出、トイレなど
13:10	挨拶ことば、自己紹介
14:00	その日のプログラム①
15:00	おやつタイム・休憩
15:10	終了、トイレに行くなど 時間の意識（時計を見る、時間配分）
15:15	その日のプログラム②
16:15	清掃作業
16:30	1日の振り返り 感想（書いて発表）

16:50	終了
17:00	お帰り その日の様子を保護者にお伝えする

5. 合同開催行事

28年5月	春の遠足 伊丹の昆陽池公園で 昆虫館への遠足。(そね・はっとり合同) 【感想から】 晴天、送迎車に分かれて乗車して、昆虫館を元気に見学しました。
28年5月	サツマイモの苗植え 豊中市スポーツ振興事業団主催に参加
28年6月	交流会実施 豊中保健所 松岡 太郎所長 ご講演 デイサービス・アプリコット・相談・豊中保健所合同
28年8月	夏祭りを各事業所で開催 【感想から】 今年も、そね・はっ通りの利用者とそれぞれの事業所で夏祭りを満喫しました。スタッフと協力して、それぞれに工夫を凝らして、ゲームコーナーや飾りつけ、食べ物コーナーも充実していました。デイの活動プログラムで作成した作品を展示してお祭りの雰囲気も盛り上げました。
28年10月	サツマイモの収穫(豊中市スポーツ振興事業団主催) 【感想から】 「ここに、みえてるやん。」「土って、あったかいねんな」とスコップを片手に、サツマイモを一生懸命、探しています。最後には軍手での作業ももどかしかったようで、素手で掘り起こしていました。 自分で掘り出したお芋に関しては、とても感動的だったようです。何度も触って確かめ、に眺めていました。残念ながら掘り起こしたお芋は持ち帰ることはできなかったようですが、おやつで調理して食べることができ、『食育』食べ物に興味を持つ事が出来ました。
28年12月	クリスマス会 福祉センターひまわりで、そね・はっとり合同開催しました。昨年度の反省も踏まえつつ、スタッフ家族のボランティアのご協力もあり、またオリジナルケーキ作りやサンタの登場で大盛り上がりのイベントに子どもたちは大喜び!! そね・はっとりでの相手のことを思って作ったプレゼントの交換もありました。プレゼントは気に入ってくれたかな?

【利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	225	225	229	238	209	226	233	238	240	195	219	255	2732
利用日数	24	25	24	23	23	24	24	24	22	23	23	26	285

(6) 障がい者の自立と就労参加を実現するための仕事づくり支援事業

【事業名】 療育支援・収益事業（障がい者就労・職域開発事業）

【事業内容】 毎日コンスタントに障がい者が6時間働き続けられる環境づくり、仕事づくり、その他関連する管理業務などを推進し、障がいのある方々に出来るお仕事を探求しています。

障がいのある人たちは働けないのではなく、『どうせ、出来ない。』との周囲の偏見から働くことを諦めてしまうことが多くあります。

しかしながら、実際に支援を受けながらも、働き・体験値を積むことで、意識が変わる場合も多々経験してきました。そのような、働き方、また就業環境を広く知ってもらいたいという意味を込めて、障がい者の就労・職域開発事業を推進する役割をしっかりと果たしてまいります。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 4,894,149 円（商品等販売）

【費用】 5,408,832 円（うち売上原価 3,255,051 円含む）

【活動報告】 『障がいがあっても社会参加は当たり前～支援があれば働ける～』のハニー・ビーの理念のもと、障がい者と健常者が共に同じ職場で継続的に働き続けられる事業所を開設し、障がい者及び障がい者を支える方々を採用し、「ハ木屋」という名前で物品販売と宅配事業を行い、また地域での清掃業務などを通じて、一人ひとりの特性を活かした就労に繋がる育成をしてきました。

本事業は、個人の成長と共に就労の場づくりに必要な他団体や地域との協力体制の構築の促進にも貢献することをめざしています。その経験をもとに、昨年度の就労移行支援事業所や今年度の就労継続 B 型事業所の開設に繋がったのではないかと考えています。

今年度も、3 月末現在で、就労支援事業所、放課後等デイサービス事業所で、4 名の障がいのある職員が、健常者と共に自らの職務をこなし、法人の職員として、事業の推進に貢献しています。ハニー・ビーでは、障がいのある職員と支援する職員の就労環境を検証しながら、今後とも事業を支える人材となる障がい者に対し、就労の機会の提供に努め、人材育成の職場環境の整備に一層努めてまいります。

(7) 障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業

(8) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

(9) 児童福祉法に規定する障がい児相談支援事業

【事業名】 相談支援センター ハニー・ビー

【事業内容】 主に知的・発達障がいのある方を対象に、利用者の意思及び人格を尊重して、子ども達の将来に関わる相談に応じ、常に利用者の立場に立った適切な計画を立てていきます。ご本人やご家族と共に相談をしながらどのような暮らしがしたいのか、そのためにはどのようなサービスが必要か、福祉・医療・教育・仕事・住まいなどの総合的な視点から一人ひとりにあった計画を作成します。障がいのある人が自立した日常生活・社会生活を送るために共に考え、支援をしていきます。

【実施場所】 豊中市、箕面市、吹田市、大阪市淀川区

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 障がい児・障がい者・ご家族等

【収益】 8,944,578 円

【費用】 1,279,524 円

【活動報告】 障がいのある方々、特に障がい児に特化したサービスの提供を大切にしています。主に知的・発達障がいのある方、子ども達の将来に関わる相談に関しては、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った適切な計画を相談しながら立てていきました。

時間はかかりますが、ご利用者さんの将来の自立した姿を思い描きながら、ご本人やご家族のお話を十二分に聞き、ご利用者さんがこれからどのような暮らしがしたいのかが見えてくるような、利用者とその家族に寄り添った相談に心がけてきました。

(10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【収益】 498,875 円（受取会費 479,000 円含む）

【費用】 74,973 円

(ア) 【事業名】 自立と就労参加を実現するための情報発信事業

【事業内容】 各市内などで『障がい者の自立・就労の意義』を主旨とし普及するためのネットワークを構築するべく、啓発・広報活動を実施します。

【実施場所】 大阪市内、豊中市内

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 障害福祉事業所、企業、行政機関、地域団体、NPO など

【活動報告】 大阪 NPO センターさんなどからのご支援をはじめ様々な事業所とネットワークを構築する足がかりとなる一年であったと思います。

来年度に向けて、理事長だけでなく理事、スタッフなど様々な人材がハニー・ビーの代表者となりミツバチのように色々なところへと媒介していくことが出来る準備が整ったと思っています。

(イ) 【事業名】 通信発行事業

【事業内容】 ハニー・ビーの活動報告や情報を盛り込んだ『ハニー・ビー通信』を定期的に発行することにより、さらなる啓発・広報活動を実施します。

【実施場所】 支援学校、豊中市立小学校、中学校、行政機関など

【実施日時】 通年毎月

【事業の対象者】 知的障がいのある当事者と保護者、企業、教育、行政機関、市民など

【活動報告】 今年度は、ハニー・ビー通信第 92 号から 103 号まで発行しました。

沢山の方々と出逢い、お話をさせていただく事で、ハニー・ビーの活動に興味を持っていただけたと自負しております。その中で、顔をあわせる機会は少なくとも月 1 度、お送りさせていただく事によって『頑張っているのだな。』『逆に元気をもらった。』とのご感想をいただき、嬉しい限りです。これからも継続は力なり、一生懸命皆さんとのご縁を感じながら、繋げて行きたいと思っています。

Ⅳ 社員総会の開催状況

第7回通常総会

(日 時) 平成28年6月23日(木) 19時から19時45分
 (場 所) 豊中市本町六丁目8-1 金岡ビル2F 多目的室
 (出席者数) 12名(うち委任状出席者6名)【社員総数 14名】
 (内 容) 第1号議案 平成27年度事業報告承認の件
 審議の結果、全員一致で可決承認
 第2号議案 平成27年度決算承認及び監査報告の件
 審議の結果、全員一致で可決承認
 第3号議案 監事選任承認の件
 審議の結果、全員一致で可決承認
 報告事項
 平成28年度事業計画並びに予算について報告があった。
 平成28年度・29年度理事及び監事の紹介があった。

Ⅴ 理事会その他の役員会の開催状況

(理事会は、注釈無しの場合は豊中市本町6丁目8-1 金岡ビル2階 理事長室にて開催)

	開催日・出席理事数	決議事項・報告内容等
第1回理事会	平成28年4月21日(木) 3名	決議事項 顧問委嘱規程の制定及び顧問の委嘱について 内 容 昨年度の活動状況、決算見込み等
第2回理事会	平成28年5月26日(木) 3名	決議事項 総会の開催について 27年度の実業報告及び決算書類の 総会提出について 内 容 総会での報告事項等の資料の確認 総会に向けての行事報告 今後の予定の確認など
第3回理事会	平成28年6月23日(木) 4名	決議事項 平成28年度29年度理事の選任について 内 容 平成28年度29年度監事候補者の 提案について 総会に向けての段取りの確認など
臨時理事会	平成28年7月1日(金) 5名	決議事項 理事長(代表理事)の選定について
第4回理事会	平成28年7月21日(木) 4名	決議事項 なし 内 容 新規事業の検討について
第5回理事会	平成28年8月25日(木) 4名	決議事項 なし 内 容 新規事業の具体検討について NPO主催事業の実施報告など 有料求人広告への掲出など
第6回理事会	平成28年9月15日(木) 4名	決議事項 有期従業員就業規則(賃金)の改定について 内 容 就労支援事業の今後の展開について

第7回理事会	平成28年10月20日（木） 4名	決議事項 なし 内 容 平成28年度上半期財務状況について 新規事業の検討状況と見直しについて
第8回理事会	平成28年11月17日（木） 4名	決議事項 12月賞与の支給について 内 容 NPO主催事業の実施報告について 事業の見直しと新規事業（就労継続 B型及び放課後等デイサービス新規 開設）の見直しについて
第9回理事会	平成28年12月15日（木） 4名	決議事項 新規事業（就労継続B型及びマイ児 童デイサービス本町）指定の行政庁 への申請について 新規借入金について 内 容 八木屋で扱う追加商品について イベント販売商品の在庫処理について
第10回理事会	平成29年1月19日（木） 4名	決議事項 なし 内 容 新規事業（ハニー・ビー ジョブB 型及びマイ児童デイサービス本町） 指定の行政庁への申請状況について
第11回理事会	平成29年2月20日（月） 4名	決議事項 就労継続B型事業所開設に伴う、 組織体制の見直しについて 内 容 平成28年度決算状況の見直しと 来年度事業計画について 平成29年度職員研修実施方針に ついて
第12回理事会	平成29年3月16日（木） 4名 場所：楽八（豊中市庄内東町）	決議事項 来年度の事業計画と予算の承認 内 容 2月度の経営状況と決算予測と 放課後等デイサービス新規開設の 申請状況について